

グループワーク検討資料

合同会のグループワーク説明

■グループワークは2回行います。

■テーマは、次の3つのうちからグループごとに自由に選択します。

権利擁護/意思決定

社会参加/地域づくり

世帯丸ごと支援(ケアラー・多機関協働)

※議論の参考として、次ページより事務局にて整理した内容を記載しています。

1回目：グループ内でドットシールによる投票で決めます。

2回目：グループ内で話し合って決めます。

同じテーマでさらに深く議論いただいてもいいですし、別のテーマで広く話し合ってもらっても構いません。

■グループで話し合っていたきたいことは、1回目・2回目ともに共通です。

★各テーマで、

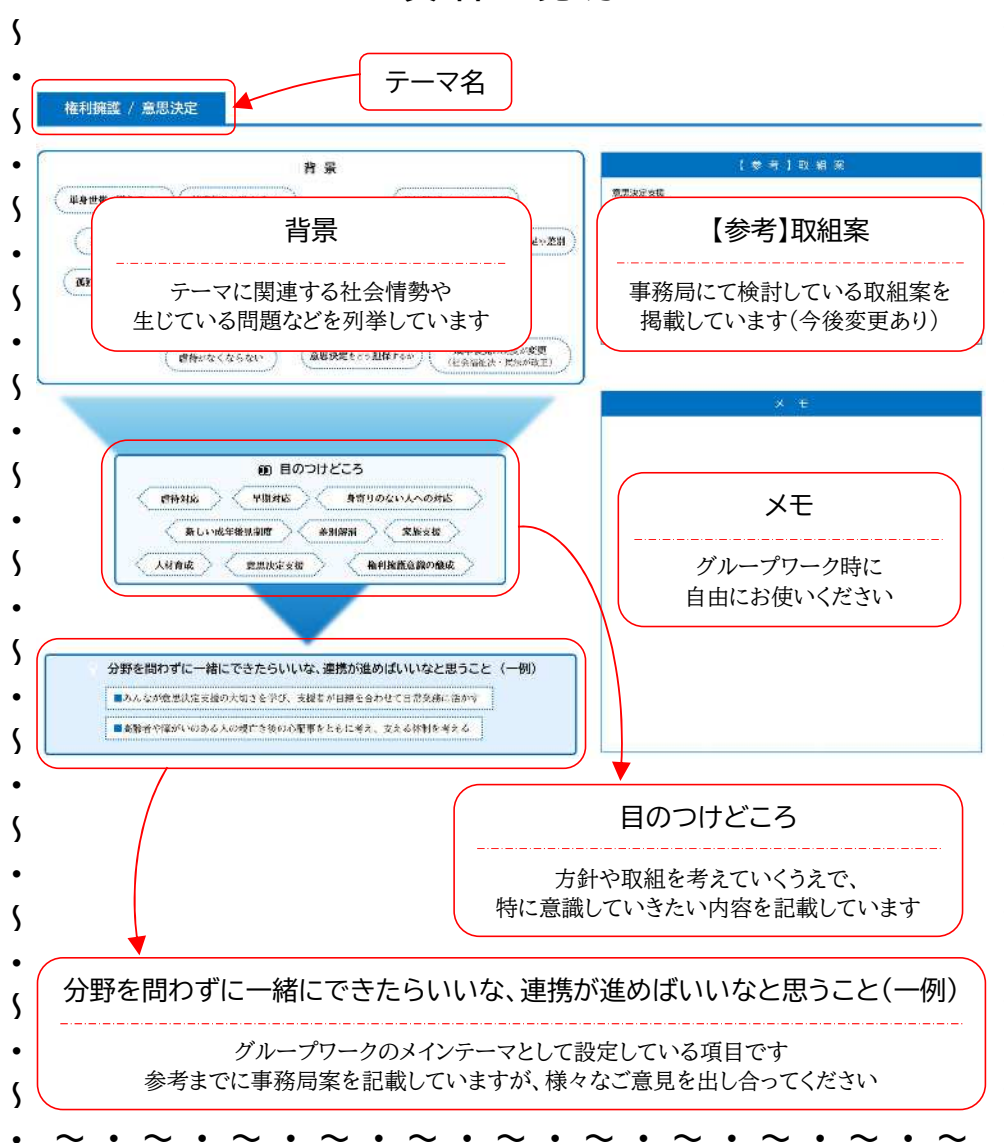
「分野を問わずに一緒にできたらいいな、連携が進めばいいなと思うこと」を話し合ってください

※話し合う過程で、「背景」や「目のつけどころ」に追加したい内容があれば、それも出してください。

グループワークの3箇条

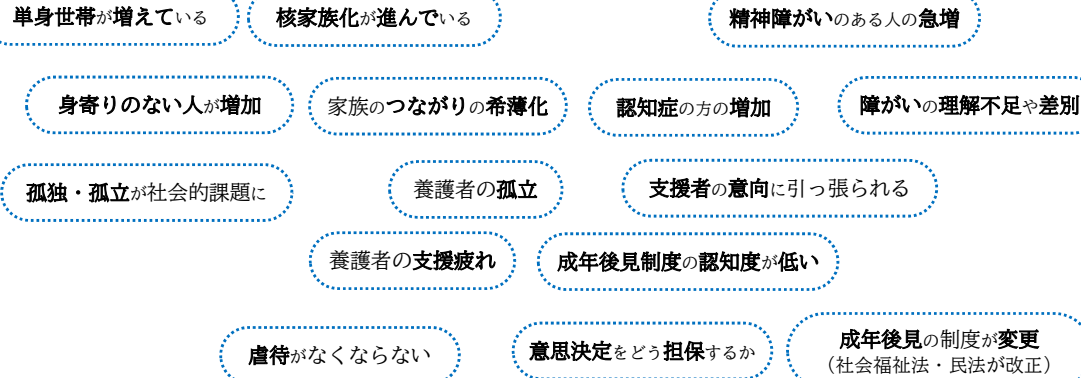
どんな意見も歓迎しましょう
一人で話しすぎず、みんなで話しましょう
批判ではなく、前向きに意見を出しましょう

～．．．～．．．～．．．～資料の見方～．．．～．．．～

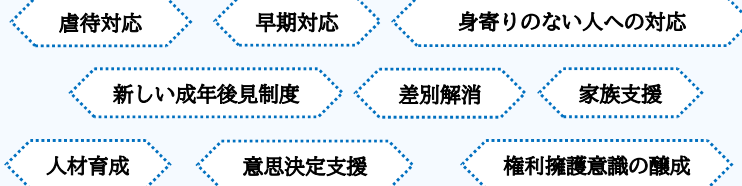


～．．．～．．．～．．．～

背景



目的



分野を問わずに一緒にできたらいいな、連携が進めばいいなと思うこと（一例）

- みんなが意思決定支援の大切さを学び、支援者が目線を合わせて日常業務に活かす
- 高齢者や障がいのある人の親亡き後の心配事をともに考え、支える体制を考える

【参考】取組案

意思決定支援

将来に備えた意思決定支援の仕組みづくり

成年後見

成年後見制度利用者への支援者会議等実施と地域連携ネットワーク強化
成年後見制度や福祉サービス利用援助事業の周知・利用促進

権利擁護支援センター機能

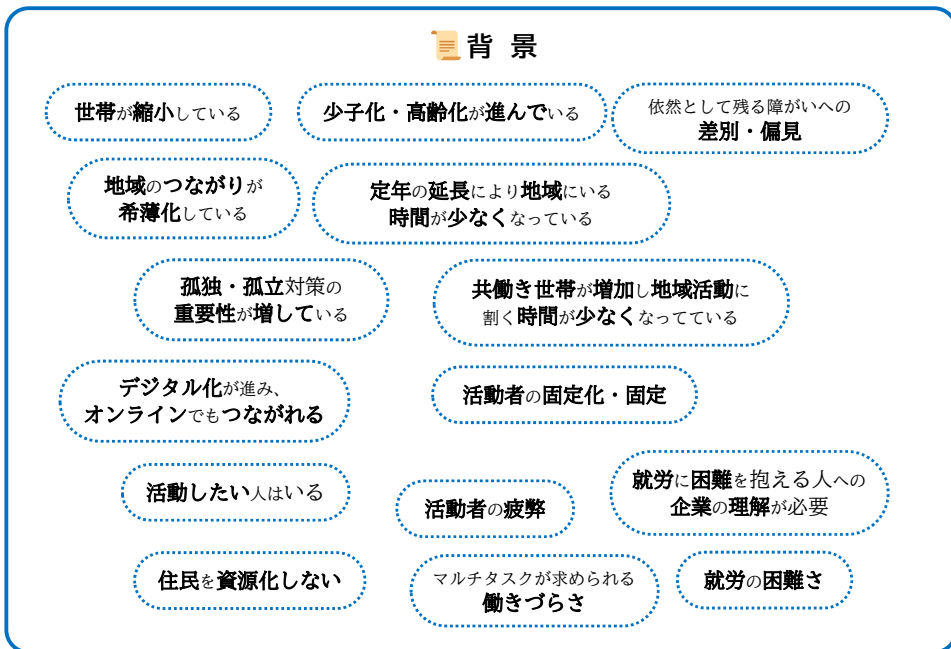
権利擁護支援センターを中心とした関連機関連携による充実
権利擁護の推進と周知啓発

虐待防止と支援

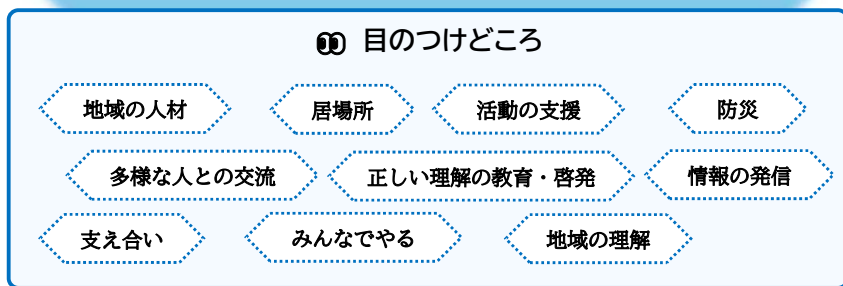
虐待早期発見・防止、権利擁護の普及啓発
虐待への対応と支援

× モ

背景



目のつけどころ



分野を問わずに一緒にできたらいいな、連携が進めばいいなと思うこと（一例）

- 地域で支える・支えられるのお互いの関係を、分野を問わずに考える
- 相互の理解が深まる啓発・教育を連携して進める

【参考】取組案

社会参加	社会参加支援事業の推進	後方支援	関係団体への支援 市民による活動の立ち上げや参加の支援
居場所	多様な人が交流できる居場所の支援と周知 生きがいづくりの推進・認知症カフェ 生涯学習の推進	防災	地域における防災体制の強化 地域づくりにつながる要配慮者支援の取組促進 防災力強化に向けた連携の推進
就労支援	多機関との連携による就労プログラムの検討 障がいのある人の就労機会の確保 高齢者の多様な就労機会の拡充(シルバー含む) 企業向けの支援・啓発	障がい差別解消	障がい者差別解消支援協議会、 誰もが共に暮らせるまち条例に関する取組の推進 障害者差別解消法及び関連条例に伴う 社会教育関係団体等への理解と周知
外出支援	社会参加につながる移動手段の確保	再犯防止	保護司会・更生保護女性会や学校園等との連携による取組の推進 “社会を明るくする運動”を通じた再犯防止への関心・理解深化
ユニバーサル(バリアフリー)	障がいの有無に関わらない社会参加の場の整備 合理的配慮の提供の取組推進・手話施策の推進 ユニバーサルデザインやバリアフリーの視点を 取り入れた安全なまちづくり	啓発	福祉に関する情報発信の充実 学校園や地域と連携した福祉学習の実施 認知症の理解を深める普及啓発
教育	インクルーシブ教育		
地域人材の育成	ちょっとした支え合いの仕組みづくり 福祉の担い手や様々な団体による見守り活動などの支援 ボランティア活動センターを中心としたボランティアやサポーターの推進・育成		
支え合いのネットワーク	地域づくりのための協働ネットワークの構築 地域支え合い推進員と関係機関等との連携による活動支援 地域見まもりネットワーク事業など協力事業者による 見守り活動支援と地域全体での高齢者見守り仕組みづくり充実 「こえる場！」による企業・団体の交流と連携推進 保健福祉センターにおける市民活動支援強化		

背景

世帯の課題が複雑化・複合化

8050問題

ヤングケアラー

育児と介護の両方のケアが必要

仕事が見つからない

若者や中年・高齢者の引きこもり

高齢者でも障がいのある人でもないが、支援が必要な人がある

介護離職による経済的困窮

養護者・介護者の孤独・孤立

障がいのある人のサービスが年齢により別の制度に移行する

仕事が続かない

養護者・介護者の負担

分野によって対象者の見方が様々

虐待されている人のほか、虐待している人への支援も必要

問題が大きくなってから相談に来ている

金銭管理が難しいことで経済的に困窮している世帯がある

目的のつけどころ

切れ目のない支援

養護者・介護者支援

早期相談・早期発見

世帯の支援に関わる専門職の共通認識・ゴールの設定

多機関協働

世帯丸ごと

アウトリーチ

分野を問わずに一緒にできたらいいな、連携が進めばいいなと思うこと（一例）

■分野外でも世帯の困りごとを関係機関へつなぐための人材育成・仕組みづくり

■早期相談・早期発見につなげるための、行政・専門職と地域住民とのつながりづくり

【参考】取組案

相談支援

世帯全体への包括的な支援の実施
生活困窮者自立支援の推進
養護者(介護者)支援の取組(家族のアセスメント)
親亡き後の障がいのある人への対応など

多機関連携

多機関協働による支援体制の構築
保健福祉センターの相談支援の機能強化
切れ目のない医療と介護の提供体制の構築
障がいのある人の介護保険制度への円滑な移行支援
各分野における課題の集約整理と解決検討
分野横断的な課題の集約・分析と組織的対応の確立

× モ